

平成20年度予算を公表

集中・重点型予算 ～市民サービスの充実と将来を見据えた財政運営～

予算のポイント

- 地球温暖化対策…ふだん着でCO₂をへらそう
- 市立病院の経営健全化
- 子育て支援の充実
 - ・新子ども人口推計に基づく対応…施設の見直し及び保育所の設置や学童クラブの新設
 - ・放課後子どもプラン「ひのっち」な

- どの内容充実
- 高齢化健康施策の充実
 - ・後期高齢者(長寿)医療制度への対応
 - ・現金給付事業を見直し、「健康づくり」施策を展開
 - 格差是正の様々な取り組み
 - ・ひとり親家庭や低所得者などの支えが必要な方への施策充実

総額939億9,066万円
(前年度比8.7%減)

一般会計
494億1,000万円
(前年度比4.1%減)

特別会計
445億8,066万円
(前年度比13.4%減)

問合せ先

財政課

今年度の重点事業を紹介

メインテーマ 【みどりの大地 青い地球をいつまでも～ふだん着でCO₂をへらそう～】

1 持続可能な社会の実現に向けた地球温暖化対策…………… 5,831万円

「ふだん着でCO₂をへらそう」事業

- 市民・団体・事業者と「ふだん着でCO₂をへらそう」協定を締結

- 生ごみを土に戻す地域循環のしくみづくりを実施
- 日野市地球温暖化対策の諸施策を実施
- 用水保全、太陽から開渠事業(用水の年間通水、開渠化の取り組みを実施)
- 良好な緑地の取得と保全(日野緑地・百草緑地)

- 水循環再生事業(湧水保全事業)の推進
- 景観計画を策定し、景観条例の早期制定
- エコひいきな街づくりモデル街区の推進

2 市民の健康のためのさまざまな取り組み…………… 33億7,070万円

市立病院経営健全化への取り組み～信頼され選ばれる地域中核病院へ～

- 必要な医師・看護師確保。病院全体の達成目標値設定。診療科別収益率向上。占床率アップにより、経営健全化を推進
- 市民の健康を地域で守るため救急科を新設(救急・災害医療の充実)
- 市民に誇れるようなレベルの高い高度医療を実施
- 「かかりつけ医」制度の充実(紹介率のアップ)

- 介護者の病気だけではなく、旅行等の際の預かりで家族介護を支援
- 災害時要援護者緊急避難プランを検討・作成
- 高齢者健康診査項目の拡大～心電図や胸部X線検査を市独自で追加
- 各種がん検診の受診率向上

- 特定保健指導を実施
- 「日野人げんき！」応援事業…有償ボランティア「げんき応援団」を組織し、特定健診の受診率向上へ
- 「日野人げんき！」プランと健康づくり事業の充実
- 「日野人四大運動事業」の見直し
- 「さわやか健康体操」を推進拡大(目標4,000人)
- げんき高齢者等交流の場の開設…「七生福祉センター」、「湯沢福祉センター」、「平山季重ふれあい館」、「平山台健康・市民支援センター」
- 年金相談員の増員による相談事業の充実

高齢者健康施策の拡充

- 敬老金・健康手当の見直しで高齢者施策をさらに充実
- 高齢者世帯などへ電球の取り替えなど“ちょっとした困りごと”を解決

「日野人げんき！」プランと健診・健康づくり～高齢者のさらなる健康プランの充実～

- 1万人に1人の保健師による地域保健活動事業を継続～新生児の全戸訪問など
- こんにちは赤ちゃん事業(新生児の全戸訪問)を実施
- はじめまして訪問の拡大と、「日野人げんき！」ゼミナールを実施
- 医療制度改革に伴う健康推進～国保被保険者いつまでも現役事業～
- 生活習慣病の予防と早期発見を図るため、特定健診

障害者支援事業

- 障害者(児)施策を拡充～「障害者保健福祉ひの5か年プラン」の推進～
- 自立支援法円滑化推進事業で市の独自支援を実施

3 子育て支援サービスの充実(保育園等改革プランの推進)…………… 49億5,382万円

～子育てしやすいまち日本一を目指して～

- 施設充実に向けた取り組み
 - ・待機児解消に向け、新たに保育所や認定子ども園を設置
 - 〈保育所〉吹上多摩平保育園、京王キッズプラッツ高幡を開設
 - 〈認定こども園〉日野・多摩平幼稚園を開設
 - ・保育園等改革計画に基づく「保育園・児童館・学童

- クラブ施設改修・サービス充実計画」の推進
- 20年度は、みさわ保育園、もぐさ台保育園、あさひがおか児童館(基幹型児童館)の改修を実施
- ・学童クラブの全員入所を堅持し、育成環境を整備
- 五小学童クラブ、たかはた学童クラブを開設
- ・子ども家庭総合相談、地域子育て支援の拡大…本部機能を持つ新・先駆型子ども家庭支援センター(高幡)と子育てひろば(平山地区)の開設
- サービスの充実～次世代育成支援行動計画「ひのっ子すくすくプラン」を推進

- ・そだちあい事業として〈気になる子〉育成事業を充実
- ・ファミリーサポート・センターの提供会員を拡大、子育て・高齢者への事業を充実
- ・キャリアプログラム研修や人材交流研修などで民間保育園と交流
- ・全小学校で放課後子どもプラン「ひのっち」を充実(スタッフの質的向上、プログラムの充実、時間延長などによる学童遊び場開放事業の充実)

4 格差是正のために…………… 6,913万円

- ひとり親家庭支援事業の拡充(諸問題解決のため専属相談員を設置、セミナーや相談会等を開催)
- 生活不安者に必要なメニューをサポート事業として実施

- 支えが必要な方へ雇用機会を
- ・セーフティネット事業の検証、見直し
- 公契約制度のモデル事業を実施
- 「(仮称)発達支援センター」開設の準備

- 「(仮称)生活・就労支援センター」を開設(障害者の就労・生活を一体的に支援)
- (仮称)障害児放課後クラブの開設(障害児に放課後の活動場所を提供)

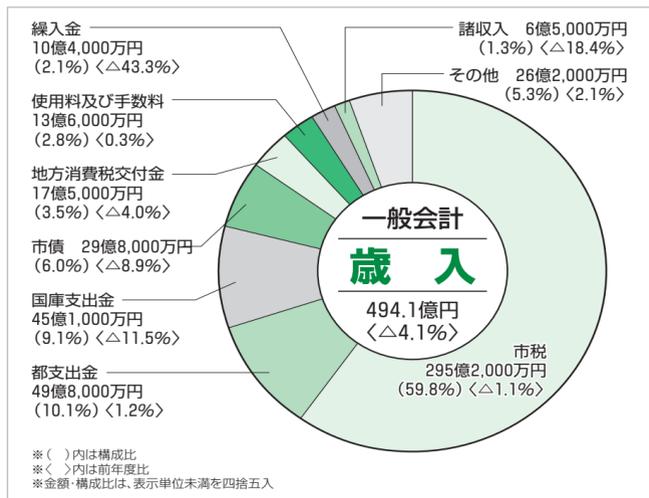
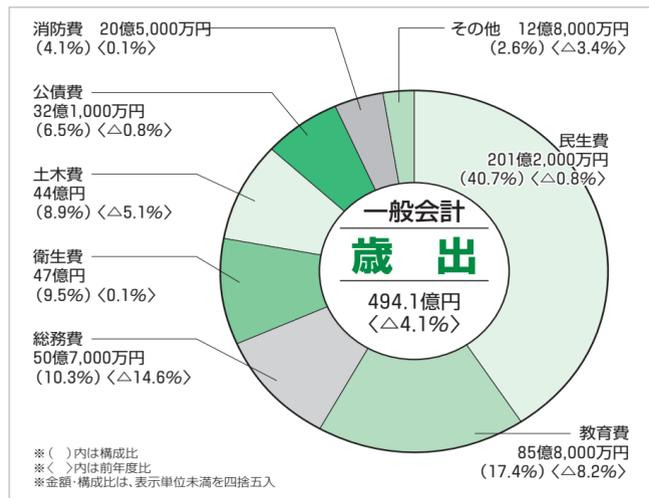
一般会計の主な増減(前年度比)

歳出

- 民生費 1億6,162万円減(0.8%減)
 - 高齢者健康施策の充実や子育てサービスを充実
 - 特別会計への繰入金金の増～後期高齢者(長寿)医療制度の開始など
 - 3億9,809万円(10.2%増)
 - 市立保育園の耐震・大規模改修工事及び児童館増築及び大規模改修工事
 - 2億3,600万円増(皆増)
- 教育費 7億6,152万円減(8.2%減)
 - 平山小学校の改築
 - 18億2,653万円減(皆減)
 - 七生緑小学校校舎増築工事・大規模改造及び耐震補強工事
 - 9億1,500万円増(皆増)
 - 特別支援教育充実及び多忙教師サポート
 - 5,408万円増(皆増)
- 総務費 8億6,825万円減(14.6%減)
 - 平山季重ふれあい館建築工事
 - 5億8,200万円減(皆減)
 - 職員人件費 6,503万円減(1.8%減)
- 衛生費 523万円増(0.1%増)
 - 「ふだん着でCO₂をへらそう」事業
 - 525万円増(皆増)
 - 病院事業会計負担金
 - 3億3,941万円増(96.1%増)
- 土木費 2億3,580万円減(5.1%減)
 - 日野用水上堰整備工事
 - 8,800万円増(皆増)
 - 緑橋架替工事及び耐震補強工事委託
 - 1億5,400万円減(皆減)
- 公債費 2,726万円減(0.8%減)
 - 地方債償還元金 1,261万円減(0.5%減)
 - 地方債償還利子 1,465万円減(2.6%減)

歳入

- 市税 3億2,146万円減(1.1%減)
 - 法人市民税の大幅な減によるもの。
- 分担金・負担金 3,642万円増(7.1%増)
 - 子育て支援施策の推進による民間保育所、市立保育所の定員の増加に伴う保護者負担金の増等によるもの。
- 国庫支出金 5億8,687万円減(11.5%減)
 - 学校校舎耐震化事業の完了等による減。
- 繰入金 7億9,218万円減(43.3%減)
 - 今後の財政運営に配慮したことによるもの。
- 市債 2億8,960万円減(8.9%減)
 - 将来負担の軽減及び財政運営を考え、借入を抑制したことによる減。



歳出額を市民1人当りに換算すると...

1人当たり 287万6,353円

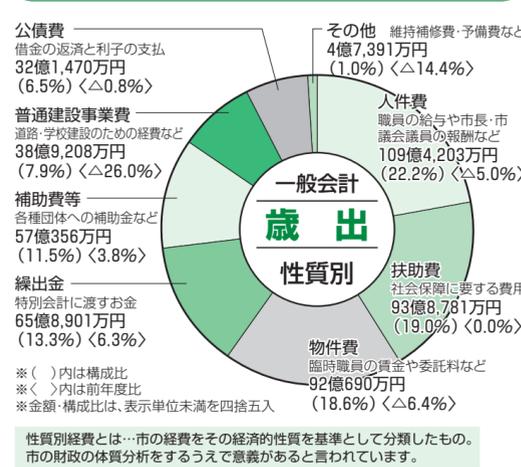
- 民生費 11万7,582円
- 教育費 4万9,705円
- 総務費 2万9,382円
- 衛生費 2万7,240円
- 土木費 2万5,502円
- 公債費 1万3,631円
- 消防費 1万1,892円
- その他 7,419円

歳入額を市民1人当りに換算すると...

1人当たり 287万6,353円

- 市税 17万1,092円
- 市債 1万7,241円
- 国庫支出金・都支出金 5万4,967円
- 使用料及び手数料 7,897円
- その他 3万5,156円

歳出予算を違う視点(性質別)で見ると

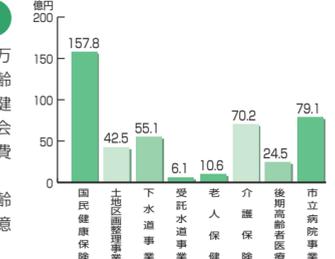


特別会計の概要

前年度に比べ13.4%減(69億1,574万円減)となりました。これは後期高齢者医療特別会計の創設に伴う老人保健特別会計の大幅減や下水道事業特別会計及び受託水道事業特別会計の工事費の減などによるものです。

国民健康保険特別会計は、後期高齢者医療支援金などにより2.2%増(3億4,681万円増)となっています。

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険	157億8千万円	2.2%
土地区画整理事業	42億5千万円	10.7%
下水道事業	55億1千万円	△3.6%
受託水道事業	6億1千万円	△41.3%
老人保健	10億6千万円	△89.5%
介護保険	70億2千万円	△5.8%
後期高齢者医療	24億5千万円	皆増
市立病院事業	79億1千万円	△0.5%
計	445億9千万円	△13.4%



●平成20年度 特別会計別予算額

市の総合的な財政情報(平成18年度決算数値)を市ホームページに掲載しています。また、東京都総務局行政部のホームページ(http://www.soumu.metro.tokyo.jp/「東京都総務局」→「区市町村行政情報」→「区市町村行政財政資料集」→「東京都区市町村の財政状況について」)でも都内市町村の財政状況等一覧表が見ることが出来ます。

予算1万円の使いみち

下の図表は、平成20年度一般会計予算を1万円に換算して、予算科目別に表したものです

福祉サービスの提供	4,070円
健康と環境を守る	950円
消防・防災	410円
教育と文化・スポーツ振興	1,740円
まちの整備と道路・公園・自転車駐車場の管理など	890円
観光・商工業の振興	90円
市政運営とコミュニティ	1,030円
市債(借入)の元金、利子の償還	650円
その他(農業・商工業振興・基金積み立てほか)	170円

●市有財産

土地	160万平方メートル
建物	32万平方メートル
土地区画整理事業基金	41億3,000万円
財政調整基金	15億5,000万円
職員退職手当基金	14億6,000万円
公共施設建設基金	12億8,000万円
環境緑化基金	11億4,000万円
市民体育施設整備基金	7億1,000万円
ごみ処理施設整備基金	4億円
学校施設整備基金	3億8,000万円
減債基金	2億3,000万円
介護給付費準備基金	1億9,000万円
平和事業基金	1億円
パリアフリー事業推進基金	6,000万円
新選組関連資料収集基金	1,000万円
合計	116億4,000万円

※金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります

●平成19年度下半期 各会計別予算執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	551.5	507.2	468.2
国民健康保険	155.8	141.5	137.3
土地区画整理事業	39.8	6.1	3.5
下水道事業	56.3	43.5	46.1
受託水道事業	9.5	9.2	7.3
老人保健	102.1	95.8	92.2
介護保険	84.3	79.9	74.4
市立病院事業(収入)	80.9	57.2	-
市立病院事業(支出)	81.9	-	65.4

※一般会計・介護保険には繰越明許費を含む

市債の状況	18年度末残高	19年度借入金	19年度元金償還額	19年度末残高
一般会計	334.9	19.1	26.7	327.3
下水道事業特別会計	355.4	11.0	17.4	349.0
病院事業会計	102.6	0.0	3.3	99.3
土地区画整理事業特別会計	53.7	0.0	0.8	52.9
合計	846.6	30.1	48.2	828.5

※金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります

平成19年度下半期の財政状況